

## ICO フェス 2018(大阪茨木クラブ) [2018年12月25日(Tue)]

11月11日に大阪府茨木市に流れる大正川と立命館大学大阪茨木キャンパスにて、IVUSA 学生 46名、地域の方々14名の計60名で、清掃活動と交流会を企画したICO フェス(茨木コミュニティフェスティバル)を実施しました。

活動場所である大正川は北摂地域を流れ、地域の方にとって身近な存在の川となっています。今回の活動は、「IVUSA 学生も、地域の方も大正川に愛着を持って活動することで、お互いの関係性も深まる」ということから「LOVE」というコンセプトを掲げました。

活動を通してIVUSA 学生の結束を深めつつ、地域の方にとって災害に強いコミュニティを形成する機会づくりとして始めました。

開会式後、大正川に移動し東岸・西岸に分かれて清掃活動は始めました。今回の活動ではゴミを拾うだけでなく、淀川テクニックの柴田英昭さんが実施されている活動「ゴミアート」の資源収集も同時に行いました。

IVUSA 学生や地域の方々は宝探しをするような気持ちで楽しく清掃活動をしました。



午後からは交流会を実施しました。ここでは災害に関する防災カードゲームであるクロスロードを始めとした様々なコンテンツを実施し、IVUSA 学生も地域の方々も共に盛り上がりを見せました。

また、参加者同士での意見交換も行い、災害について考える機会になったと同時に、災害に強いコミュニティを形成するという目的の大きな一歩に繋ぐことができました。



今回の活動は昨年実施された事業フェスというイベントより、さらに多くの地域の方を巻き込んだ活動となりました。

しかしこの活動はまだまだ発展段階です。今回留学生の参加があったことや、ゴミアートの資源集めに携わらせていただいたことなど新たな取り組みが多々ありました。今回の活動で見た課題や改善点を活かして今後の活動に繋げていきます。

最後にこの活動に携わってくださった全ての方々に感謝申し上げます。